

(資料 2)

AI-OCR サービス利用 仕様書

1. 件名

AI-OCR サービス利用

2. 内容

DX Suite (AI inside 株式会社) を用いた AI-OCR システムをクラウドサービスで提供すること。(以下「本サービス」という。)

なお、受注者は仕様書に記載のない事項であっても、本サービスの提供に必要な事項は実施するとともに、その費用を負担すること。

3. 利用期間

令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

4. 予定処理件数

利用期間中に予定している処理件数は以下のとおりとする。なお、以下に記載する数量はあくまでも予定であり、その数量の使用を約束するものではない。

項目	予定件数
空欄と認識したパーツ	180,000 件
チェックボックス	180,000 件
エントリーのみを行うパーツ	0 件
上記 3 項目以外の文字を認識したパーツ	540,000 件
画像の仕分け処理	24,000 件

5. 本サービスの要件

本サービスは、下に示す要件をすべて満たすものとする。

(1) 基本要件

- ①画像ファイルに表示される文字画像を読み取り、AI 技術を活用してデータ化する OCR (光学文字認識) サービスを LGWAN-ASP で提供できること。
- ②インターネットやパブリッククラウドサービスへ接続することのない LGWAN 完結型のサービスであること。
- ③本市がアップロードした画像ファイルおよび読取結果を学習機能に使用しないこと。
- ④クラウドサービスの提供のため、LGWAN 上に計画的なメンテナンスを除き 24 時間 365 日利用可能なサイト (以下「サービスサイト」という。) が公開され、Web ブラウザでこのサービスサイトが利用できること。
- ⑤Web ブラウザは Microsoft Internet Explorer11、Microsoft Edge (バージョン 42 以降) に対応していること。
- ⑥AI 技術を活用した文字認識エンジンは適宜アップデートされること。
- ⑦読み取りや仕分けのためにアップロードした画像ファイルおよびその処理結果は、アップロードから 7 日以内に自動で削除されること。

(2) サービスサイト要件

- ①ログイン時に、ユーザーID とパスワードによるユーザー認証ができること。
- ②ユーザーID は 1,000 以上登録できること。
- ③ユーザーID ごとに一般ユーザーもしくは管理者ユーザーの権限を設定できること。
- ④登録したユーザーすべてが同時にサービスを利用できること。

(3) セキュリティ対策要件等

- ①サービス上の通信は TLS1.2 (暗号強度 256 ビット) 以降により暗号化できること。
- ②外部からの不正アクセスを防止する措置 (ファイアウォール、リバースプロキシの導入等) が講じられていること。
- ③サービス提供のために設けられるシステム環境の境界に、不正アクセスを自動的に検知する措置 (IPS の導入等) が講じられていること。
- ④ネットワークからの攻撃に対する検証試験 (ペネトレーションテスト等) による点検を年 1 回実施し、問題が発見された場合は対策を行うこと。
- ⑤24 時間 365 日のシステム監視を行い、情報セキュリティの確保に努めること。
- ⑥セキュリティ情報を確認し、適宜最新のセキュリティパッチの適用をしていること。
- ⑦情報漏洩等の事故発生時の対応について、手順を整備すること。
- ⑧障害発生時も継続利用ができる冗長構成等の仕組みを講じていること。
- ⑨データセンターの所在地は日本国内とし、国内法が適用されること。
- ⑩データセンターは、十分な災害対策や万全のセキュリティ対策が施行されていること。
- ⑪クラウド上の本市の各種データ資産へのアクセスは、本市が許可した場合のみ可能とし、本市以外のサービス利用者及び第三者からのアクセスがされないこと。
- ⑫サービスの利用契約が満了する際は、本市のデータ資産はクラウド上から完全に消去し、その作業完了を書面により通知すること。

(4) 一般ユーザー機能要件

- ①読み取りを行う画像ファイルの様式をサービスサイトにアップロードし、読取箇所 (座標位置)、読取項目の種類等の定義を設定できること。
- ②読み取りを行う画像ファイルをサービスサイトにアップロードし、設定した定義に基づいて AI-OCR による読み取りを実行できること。
- ③複数の様式が混在した画像ファイルをサービスサイトにアップロードし、設定した定義に基づいた画像の自動仕分けができること。
- ④AI-OCR で読み取った結果に対して、入力による補正 (エントリー) および複数人での確認 (ベリファイ) をサービス上で行えること。
- ⑤AI-OCR で読み取った結果および④の確認・補正を行った結果のファイルをダウンロードできること。
- ⑥ユーザーアカウントごとに権限を付与された範囲で、アップロードしたデータへのアクセスおよび処理状況の確認ができること。

(5) 管理者ユーザー機能要件

一般ユーザーの機能に付加して、次のことができること。

- ①ユーザーアカウントの発行、削除および操作権限の付与等の設定ができること。
- ②組織内に所属を設定し、アカウントごとにグループ分けができること。
- ③パスワードの有効日数や文字の長さ等の設定およびロック等のログイン管理が行えること。
- ④本市の全ユーザーがアップロードしたファイル、設定した定義および結果ファイルを確認できること。
- ⑤本市の全ユーザーのサービス利用量の集計を、月別で確認できること。
- ⑥本市の全ユーザーについて、どのユーザーが、いつ、どのような操作を行ったかの履歴を確認できること。また、日時やユーザーを指定して検索できること。

(6) 文字認識機能要件

①サービスサイトにアップロードする画像ファイルの要件は以下のとおりとする。

- ア. PDF、TIFF および JPEG 形式に対応していること。
- イ. 解像度 200dpi から 600dpi の間で問題なく利用できること。
- ウ. 用紙サイズ A3、A4 およびはがきサイズに対応していること。
- エ. 1 ファイルにつきファイルサイズ 10MB まで対応していること。
- オ. 1 ファイルにつき 10,000 ページまで対応していること。

- ②日本語、アルファベット、数字、記号の認識が行えること。
- ③読取項目に対して日付、住所等の種類を設定することで、より精度の高い文字認識が行えること。
- ④手書き文字の乱筆や欠け文字に対応していること。
- ⑤読取項目内に任意に設定した範囲および訂正印、二重線、塗りつぶし箇所の読み飛ばしが行えること。
- ⑥複数行にわたって記載された文字の読み取りに対応していること。
- ⑦画像ファイルの軽微な位置のずれ、傾きを文字認識実行時に自動補正できること。
- ⑧ユーザーが任意の単語等を登録することで、文字認識をしやすい辞書機能があること。
- ⑨認識結果に対する入力による補正（エントリー）および複数人での確認（ベリファイ）について、サービス上での実行可否、回数、順序等のフローを設定できること。
- ⑩エントリーやベリファイを行う際は、画像ファイルと認識結果を並べて表示する、文字認識の精度が低いと思われるものに印がつく等、作業を補助する機能があること。
- ⑪認識および補正・確認結果を出力したファイルの要件は以下のとおりとする。
 - ア. CSV 形式でダウンロードできること。
 - イ. 文字コードはシフト JIS、UTF-8 を選択できること。
 - ウ. 画像ファイル 1 ページごとの結果を 1 行として出力できること。
 - エ. 出力時に項目の結合、特定文字の挿入、変換等のデータ加工が行えること。

6. 保守サポート要件

以下に示す保守サービスを行うこと。

- (1) WEB フォーム受付による技術的なサポートを行うこと。

- (2) 受付時間については、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日および年末年始(12月29日から1月3日)を除く平日午前9時から午後5時は可能とすること。
- (3) メンテナンス等でやむを得ずサービスを一時停止する必要がある場合には、あらかじめ発注者に連絡を行うこと。
- (4) 不具合及び事故発生時は、本市担当者へ速やかに連絡し、復旧対応と報告を行うこと。
- (5) 不具合及び障害発生時は、本市担当者からの連絡を電子メール等で24時間365日受け付けること。
- (6) 本サービスの定期的及び障害対応等の臨時的バージョンアップを無償で行うこと。

7. その他

- (1) 本サービス利用のために本市を支援するとともに、調査依頼、資料請求等に対して迅速に対応すること。
- (2) サービス利用手順をまとめたマニュアル(管理者用、一般ユーザー用)を提供すること。
- (3) 本サービス提供の総括責任者及び代行する者を置くこと。総括責任者は、本サービス提供中に従事者を指揮し、本市の担当者と連絡を密にし、遺漏のないように努めること。
- (4) 本仕様書の内容について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない事項については、本市と協議のうえ決定すること。